

評価対象年度	平成23年度	施策評価シート(震災復興用)	政策	6	施策	3
施策名		3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実	施策担当部局	教育庁, 環境生活部		
「宮城県震災復興計画」における体系		6 安心して学べる教育環境の確保 【教育】	評価担当部局 (作成担当課室)	教育庁 (生涯学習課)		

施策の方向 (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の「震災復興実施計画」の行動方針)	①社会教育・社会体育施設の復旧と生涯学習活動の推進 ◇ 震災で被害を受けた社会教育施設の復旧を急ぐとともに、社会教育施設を核として、防災教育や地域づくり活動等のリーダー養成、被災時を想定した研修を実施するなど、地域コミュニティづくりに向けた生涯学習活動を促進する。 ◇ 社会体育施設の早期復旧を図り、健康で明るく活力に満ちた生活を送ることができるよう、県民が身近にスポーツに触れる機会を創出する。 ◇ 今回の震災を後世に伝える環境を整備するため、震災に関する図書・雑誌・映像などを収集する。
	②被災文化財の修理・修復と地域文化の振興 ◇ 文化財の保全・保護に向け、速やかに保存管理のあり方の検討や被災した文化財調査を行い、震災で被害を受けた貴重な文化財の修理・復元や歴史・民俗資料の保全に努める。 ◇ 郷土の伝統的な文化財を県民の財産として、保存、継承し、地域文化の振興を図る。 ◇ 文化施設の早期復旧を図るとともに、将来の地域発展を担う子どもたちの創造性を育み、コミュニティ意識の醸成や個性豊かな地域づくりを支援するため、学校や児童館、公民館など身近な場所における少人数・体験型の文化芸術事業に取り組む。

施策に関する社会経済情勢等の状況 (全国・隣県・本県の状況、法令・条例・計画等策定の状況等について)
・各個人が自立した一人の人間として力強く生きていくために必要な知識・技能を身につけるための学習機会の提供が求められている。また、震災からの復興に向けて、個人の学習成果を地域に還元し、地域づくりや生涯学習活動を推進する人材の育成が求められている。 ・ライフスタイルの変化や生涯学習としての文化芸術へのニーズが高まっているほか、子どもの感性や創造性、コミュニケーション能力の充実のためにも、文化芸術活動への身近な取り組みがますます必要とされている。 ・震災後の精神的な支えとして、さらには地域コミュニティ復活の核として文化芸術の果たす役割が期待されている。 ・健康志向の高まりにより、スポーツやレクリエーションに対する関心が高まっている。生涯にわたって、年齢・関心・技術に応じ、様々な形でスポーツに親しみ充実したスポーツライフが送れる県民総スポーツ社会の実現が求められている。

決算(見込)額 (千円)	年度	平成23年度 (決算(見込)額)	平成24年度 (決算(見込)額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	2,225,169	-	-

※決算(見込)額は「宮城の将来ビジョン推進事業」と「取組に関連する宮城県震災復興推進事業」の合計額(再掲分含む)

目標指標等 ※達成度 A:「目標値を達成している」 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」 N:「現況値が把握できず、判定できない」		初期値 (測定年度)	現況値 (測定年度)	目標値 (測定年度)	達成度
	1	災害復旧工事が完了した県立社会教育施設・社会体育施設数(施設)〔累計〕	0施設 (0%) (平成22年度)	4施設 (30.8%) (平成23年度)	13施設 (100%) (平成25年度)
2	被災文化財(国・県指定)の修理・修復事業着手数(件)〔累計〕	0件 (0%) (平成22年度)	25件 (30.9%) (平成23年度)	80件 (98.8%) (平成25年度)	B

■ 施策評価 (原案)	
施策の成果	評価の理由
目標指標等、県民意識調査結果、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたか(震災からの復興が進んでいるか)。	・目標指標等については、2つとも目標を達成すべく推移してはいるものの、平成25年度の目標値に対し概ね3割の進捗率にとどまっていることから、事業の更なる推進が必要である。 ・県立社会教育施設については、8施設中2施設、県立社会体育施設については、5施設中2施設が完了。残りの施設については、災害査定は完了している。 ・被災文化財の修理・修復事業着手数については、80件中25件について修復事業の補助を行っているが、平成23年度の目標値とのかい離が大きい。 ・県民の学習機会の提供や、文化芸術の振興については、事業規模を縮小して実施せざるを得なかったことから、一層の充実が必要である。 ・以上のことから、施策の目標である「生涯学習・文化・スポーツ活動の充実」はやや遅れていると判断する。
【評価】	
やや遅れている	

施策を推進する上での課題と対応方針（原案）※施策が直面する課題や改善が必要な事項等
※今年度の対応状況を含む今後の対応方針**【課題】**

- ・津波で被災した松島自然の家は、現地建て替えが不可能なことから、移設による施設再建を計画的に進めていく必要がある。
- ・被災文化財は、有形文化財、無形文化財、記念物に及び、種類や件数が多いために修理・修復費用が多額になる。そのため、所蔵者及び補助を行う自治体の財政負担が大きくなる恐れがある。

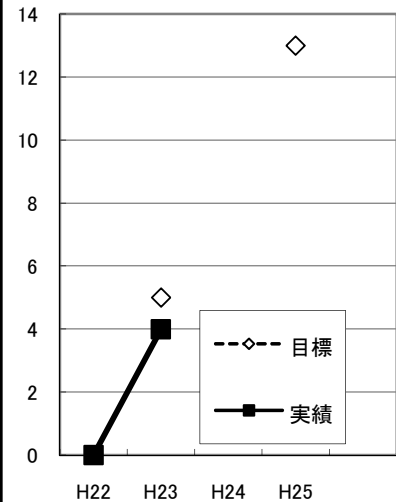
【対応方針】

- ・早期復旧に向けて、文科省・地元市町村や関係者等と調整し事業を進めていく。
- ・平成23年度は県及び市町村指定文化財も含めて、自治体負担分については80%の特別交付税が措置されており、特別交付税については平成24年度も継続要望していく。また、平成23年度同様、国・県・市町村指定、国登録文化財の修復にかかる個人・法人の所有者負担に対しては震災復興基金の運用を図る。

目標指標等の状況

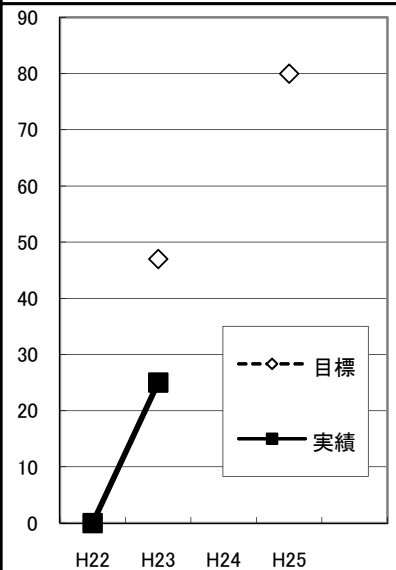
※目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」
 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」
 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」
 N:「現況値が把握できず、判定できない」

目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
1 災害復旧工事が完了した県立社会教育施設・社会体育施設数(施設)〔累計〕 公立社会教育施設・公立社会体育施設の災害復旧事業が完了した施設数	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	-
	目標値(a)	-	5施設 38.5%	-	13施設 100%	-
	実績値(b)	0施設 0%	4施設 30.8%	-	-	-
	達成(進捗)率(b)/(a)	-	80%	-	-	-
	達成度	-	B	-	-	-



目標値の設定根拠	・被害を受けた社会教育施設8施設, 社会体育施設5施設の復旧完成施設数。
実績値の分析	・平成23年度では社会教育施設2施設(伊豆沼サンクチャラーセンター, 美術館), 社会体育施設2施設(宮城球場, 仙南総合プール)の工事が完了した。

目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
2 被災文化財(国・県指定)の修理・修復事業着手数(件)〔累計〕 各市町村教育委員会からの実績報告に基づき県が補助する被災文化財の修理・修復事業着手数	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	-
	目標値(a)	-	47件 58.0%	-	80件 98.8%	-
	実績値(b)	0件 0%	25件 30.9%	-	-	-
	達成(進捗)率(b)/(a)	-	53%	-	-	-
	達成度	-	B	-	-	-



目標値の設定根拠	・現状での文化財所有者等の意向をもとに、修理・修復のための環境整備や技術的問題を考慮して目標値を設定した。
実績値の分析	・被災文化財所有者等と修理・修復の調整をし、修理事業の補助を行い、平成23年度では25件(国指定文化財17件・県指定文化財8件)に着手することができたが、平成23年度の目標値との乖離が大きく、事業の更なる促進が必要である。 ・なお、当初修理・修復の補助を予定していた被災文化財が、所有者等との調整により国の補助や所有者単独での実施に変更されるなど、県の補助が不要となったものが出てきていることから、今後は目標値の見直しが必要である。

宮城県震災復興推進事業

番号	事業名		平成23年度決算(見込)額(千円)		事業の状況							
	担当部局・課室名		特記事項		事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
1	公立社会教育施設災害復旧事業		42,210		震災で甚大な被害を受けた県立社会教育施設を復旧するとともに、使用が困難になった市町村の公民館等の社会教育施設の再建、復旧に対して支援する。				県立社会教育施設8施設については災害査定が全て完了しているが、工事が完了した施設は2施設にとどまっている。市町村社会教育施設申請予定の206施設のうち、災害査定終了が132施設、交付決定済51施設、実績報告提出施設34施設となった。			
	① 01 緊急	教育庁	ビジョン 関連:取組23		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
		生涯学習課			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
					妥当	成果があった	課題有	維持	-	42,210	-	-
2	私立博物館等災害復旧費補助事業		35,417		被災した私立博物館等の復旧を図るため、被災事業者が実施する災害復旧事業に要する費用の一部を補助する。				他の補助制度を利用する博物館で申請が減ったものの、申請予定4施設のうち2施設が事業完了した。残り2施設(1施設は工事完了分の補助申請済みだが、さらに工事が必要。もう1施設は未着工。)については、平成24年度への継続が必要である。			
	① 02 緊急	教育庁	ビジョン 関連:取組23		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
		生涯学習課			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
					妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	廃止	-	35,417	-	-
3	公立社会体育施設災害復旧事業		1,246,786		震災により被害を受けた社会体育施設(総合運動公園、宮城野原公園総合運動場等)の復旧工事を行うとともに、使用が困難になった市町村の社会教育施設の再建、復旧に対して支援する。				被害を受け災害復旧事業を行う5施設の社会体育施設のうち2施設が完了。3施設は繰越事業。			
	① 03 緊急	教育庁	ビジョン 関連:取組23		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
		スポーツ健康課			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
					妥当	成果があった	効率的	維持	-	1,246,786	-	-
4	みやぎ県民大学推進事業		2,552		震災からの復興に向け、地域において生涯学習を推進する人材の育成と、その活用を図るため、学校や社会教育施設、NPO等との連携・協力により、多様な学習機会を提供する。				震災による影響から、全講座数が66から49に減少した。NPO等の企画協力による6講座を休止するなど、事業全体が縮小されたことから、全受講者数の大幅な減少がみられた。一方、社会教育施設や団体の職員による積極的な受講が増えるなど、復興に向けた生涯学習推進に向け、学習需要の変化が見られた。			
	① 06	教育庁	ビジョン 取組23		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
		生涯学習課			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
					妥当	ある程度成果があった	課題有	拡充	-	2,552	-	-

5	協働教育推進総合事業		11,663		事業概要		平成23年度の実施状況・成果				
					震災により子どもを育てる環境が大きく損なわれていることから、子育てサポーターの養成など地域が協働して子どもを育てる仕組みづくりを積極的に推進し、地域全体で子どもを育てる体制の整備を図る。また、被災による生活不安や心の傷を有する親子を支援し、家庭の教育力の向上を図るため、家庭教育に関する情報提供を行う。		<ul style="list-style-type: none"> 協働教育プラットフォーム事業(15市町実施) 教育応援団事業の実施(181件 認証・登録) 「協働教育の推進」を具現化するための事業を行っている市町村数(31市町村) コーディネーター養成研修会の開催(年3回) 地域活動支援指導者養成研修会の開催(年2回) 子育てサポーター養成講座の開催(120人受講) 子育てサポーターリーダー養成講座の開催(14人) 子育てサポーター・サポーターリーダーフォローアップ講座の開催(108人受講) 				
① 07	教育庁	6②① 再掲	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
	生涯学習課	ビジョン 取組14(※06)	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
				妥当		成果があった		効率的		拡充	
				-		11,663		-		-	
6	広域スポーツセンター事業		7,200		事業概要		平成23年度の実施状況・成果				
					被災者を含むすべての県民の健康増進と活力維持を図るため、地域や年齢・性別、障害の有無に関わらず、だれもがスポーツに親しめるよう、みやぎ広域スポーツセンターの機能拡充により、総合型地域スポーツクラブの創設や運営に対する支援を行う。		<ul style="list-style-type: none"> 震災下にあっても、石巻市・登米市・栗原市の3市においてクラブが新設する等、現在34クラブが活動しており、避難所でも地域コミュニティの核として各クラブが果たした役割は大なるものがあつた。また、スポーツ活動を通して地域住民のスポーツ活動を推進するとともに、仮設住宅等における入居者の健康・体力維持に関わる活動を継続している。 				
① 08	教育庁	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
	スポーツ健康課	ビジョン 取組23	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
				妥当		成果があった		効率的		維持	
				-		7,200		-		-	
7	スポーツ選手強化対策事業		132,581		事業概要		平成23年度の実施状況・成果				
					被災者の活力と希望を生み出し、県民の生涯スポーツへの参画を促進するため、スポーツにおける国際大会・全国大会等で活躍できる選手の育成を支援する。		<ul style="list-style-type: none"> 国民体育大会において、総合成績21位ではあつたが、震災影響のある中にあつては、目標である10位台の維持には届かなかったものの、概ね評価できる成績であった。被災下にあつても県民がスポーツへの関心を繋ぎ、復興への大きな活力となつた。 				
① 09	教育庁	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
	スポーツ健康課	ビジョン 取組23	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
				妥当		成果があった		効率的		維持	
				-		132,581		-		-	
8	震災資料収集・公開事業		2,000		事業概要		平成23年度の実施状況・成果				
					東日本大震災を後世に伝えるため、震災に関する図書・雑誌などを収集するとともに、県図書館内にコーナーを設置し、広く県民の利用に供する。		<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の被災地の県立図書館として、大震災に関する資料を広く収集、整理して「東日本大震災文庫」を創設する作業を行った。 				
① 10	教育庁	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
	生涯学習課	ビジョン 関連:取組23	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
				妥当		成果があった		概ね効率的		維持	
				-		2,000		-		-	

9	指定文化財等災害復旧支援事業	3,721	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			震災により被害を受けた文化財の修理・修復を図るため、修理・修復費用に対する補助を行う。				被災文化財所有者等と修理・修復の調整を行い、修理事業の補助を行った。 25件（国指定文化財17件、県指定文化財8件）			
	② 01 教育庁 文化財保護課	ビジョン 関連：取組23	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	3,721	-	-
10	被災有形文化財等保存事業	1,500	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			震災により破損した登録有形文化財（建造物・美術工芸品）を対象に、修理事業等に対する補助を行う。				登録文化財（建造物）1件の修理事業の補助を行った。			
	② 02 教育庁 文化財保護課	ビジョン 関連：取組23	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	1,500	-	-
11	無形民俗文化財再生支援事業	400	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			震災で活動母体のコミュニティが失われたり、用具が流出・損傷したりして、活動の継続が困難になった地域の祭礼行事や民俗芸能等の無形民俗文化財保持団体に対して、行事や芸能の再開を促すとともに、伝統文化の実施を通じたコミュニティ再生の一助とするために、用具等の備品の整備を支援する。				重要無形民俗文化財（雄勝法印神楽保存会）ほか1団体に用具等整備の補助を行った。			
	② 03 教育庁 文化財保護課	1①④ 再掲 ビジョン 関連：取組23	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	400	-	-
12	復興事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査事業	607	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			復興事業に係る発掘調査について、市町村単独での実施が困難な場合、被災住民及び被災自治体の負担軽減を図るとともに、発掘調査を迅速に推進する必要があることから、県が調査を実施又は調査に協力する。				各市町村と復興事業に係る発掘調査について調整を行った。 発掘調査は、具体的な事業実施が無かったことから実施はない。			
	② 04 教育庁 文化財保護課	ビジョン 関連：取組23	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	607	-	-
13	「震災復興に係る特別名勝松島保存管理検討会」事業	562	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			特別名勝松島地域の復旧・復興事業を円滑に推進するため、特別名勝としての文化財的価値と復興計画の両立を図るための検討・調整を行う。				震災復興に伴う特別名勝松島の保存管理の在り方検討会を3回実施し、基本方針を示した。 震災復興に伴う特別名勝松島の保存管理の在り方検討会調整会議を3回実施し、各市町村の事業計画等の調整を行った。			
	② 05 教育庁 文化財保護課	ビジョン 関連：取組23	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	効率的	縮小	-	562	-	-
14	県民会館施設整備事業	727,430	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			本県の文化芸術活動の中核である宮城県民会館の修繕を早急に進め、早期の施設再開を目指す。				被災箇所が極めて広範囲にわたり調査・設計等に期間を要したが、修繕工事に全力で取り組み、6月16日に再開館が決定。			
	② 08 環境生活部 消費生活・文化課	ビジョン 関連：取組23	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	727,430	-	-

15	みやぎ県民文化創造の祭典(芸術銀河)開催事業	10,540	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			県民に対して、優れた芸術文化の鑑賞と発表の機会を広く提供するとともに、被災市町等の学校や公共施設、福祉施設等に重点的にアーティストを派遣し、子どもたちを中心に地域住民が身近に芸術文化に触れ合うことのできる少人数・体験型の事業を実施する。				平成23年度は東日本大震災の影響により、イベント型の事業を全て中止としたほか、ワークショップ・アウトリーチ等の少人数・体験型事業についても市町村における実施回数が減少。一方で被災地支援を目的に関係機関との連携による事業を拡充。			
			事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
09	環境生活部	ビジョン 取組23	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
	消費生活・文化課		妥当	ある程度 成果があつた	概ね効率的	維持	-	10,540	-	-
決算(見込)額計		2,225,169								
決算(見込)額計(再掲分除き)		2,213,106								

